

公社) 日本水環境学会 第25回市民セミナー

2016年8月5日(金) 開催

「温暖化、水とくらしはどのような？ どうする？ (Ⅲ) ～生活目線での適応策～」

人類にとって温暖化対策は喫緊の最重点課題である。特に今年度はパリで開催されるCOP21において、ポスト京都議定書ともいわれる新たな「実効性のある大胆な温暖化対策」について先進国、新興国、途上国の参加国すべてが合意できるかどうかの正念場の年である。

しかしながら、水環境部門では水量に関する事項以外につながりが弱く捉えられ、身近な課題となっていない傾向がある。そこで平成20年度と21年度に、日本水環境学会として水環境をめぐる温暖化に関する市民セミナー(温暖化の媒体としての水に関する視点から様々な分野(生態系、感染症、水問題、農水産業など)に関するもの)を2回にわたって開催し、市民への啓発を行ってきた。今般、温暖化は大きくメディアなどでも取り上げられ、様々な情報がテレビや新聞、インターネットを通じてわれわれ市民にもたらされている。しかしながら、理解に専門性を要すること、あまりに多くの情報が本当に重要な情報を薄めてしまうこと(数多くの情報から必要な情報を拾い集めてくることは、非常に難しいものである)などの理由から、地球温暖化によって何が起るのか、直接的にわれわれの周りの水とくらしにどのような影響が及ぶのか、日本政府としては温暖化にどのような対策で臨もうとしているのか、そしてわれわれ市民ができること・せねばならないことは何か、を正確に把握している市民は少ないと考えられる。

そこで、本セミナーでは、地球温暖化について正しく理解していただくために、地球温暖化に関わる各分野(特にわれわれ市民に身近な生活に関わる分野)で調査・研究を行っている当学会の専門家の先生方に現在まで得られた知見を、わかりやすく、丁寧に講演いただく。

本セミナーは東京をメイン会場として講演いただき、大阪会場の大型スクリーンに配信します。なお、双方向WEB会議方式により大阪会場からの質疑も受け付けます。

**主 催：** (公社) 日本水環境学会

**期 日：** 2016年8月5日(金) 10:50～16:30

**場 所：** 東京会場：地球環境カレッジホール(いであ(株)内) (東京都世田谷区駒沢)

<http://www.gecollege.or.jp/gec/gec.htm#02>

大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール (大阪市住之江区南港北)

[http://www.ideacon.jp/contents/company/osaka\\_new.htm](http://www.ideacon.jp/contents/company/osaka_new.htm)

**参加費：** 東京メイン会場：一般3,000円、大学生1,000円、高校生以下無料

大阪会場：一般2,000円、学生(含高校生)無料 (税込、資料代含む)

**定 員：** 250名(東京会場150名、大阪会場100名)

**申込方法：** FAX, E-mail, 参加申込書またはハガキに①参加者氏名(フリガナ)②会員・非会員の別③会員の場合は会員番号④希望受講会場⑤連絡先(所属団体名、住所、電話・FAX番号およびE-mail)をご記入の上、下記宛お申し込み下さい。また、参加費を7月29日までにお振り込み下さい。入金を確認後、参加証(ハガキ)をお送りいたします。

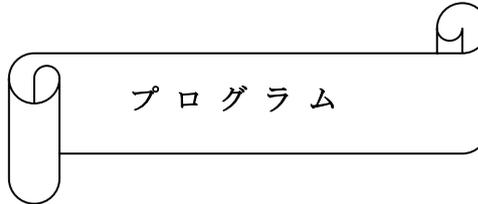
**参加費振込先：** 三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店(普通) 0754950

(公社) 日本水環境学会セミナー口

シャ) ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

**申し込み・問い合わせ先：** (公社) 日本水環境学会 セミナー係 戸川  
〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7 グリーンプラザ 深川常盤 201号  
Tel. 03-3632-5351 Fax. 03-3632-5352  
E-mail: togawa@jswe.or.jp

裏面に続きます。



10 : 20～10 : 50 受付

10 : 50～11 : 00 開会挨拶

11 : 00～12 : 00

**地球温暖化についての IPCC の最新の報告と今後の動向**

気候変動に関する政府間パネル (IPCC) インベントリータスクフォース  
共同議長 田辺 清人

地球温暖化について、IPCC が 2013～2014 年に発表した最新の報告の概要と、国際社会の今後の動向を、一般市民にもわかりやすく説明していただきます。

～昼休み～

13 : 00～14 : 00

**水道分野における気候変動の影響への適応策**

国立保健医療科学院統括研究官 秋葉 道宏

温暖化によって、われわれの生活に密接に関係する水道（上水道）はどのような影響を受けるのか、水供給側から上水道分野で考えられる適応策についてわかりやすく解説していただきます。

14 : 10～15 : 10

**温暖化と感染症、それに対する適応策**

国立感染症研究所所長 倉根 一郎

最近よくメディアでも取り上げられている、温暖化にともなう熱帯域の感染症の温帯域（日本）への拡大の危険性についてわかりやすく解説いただきます。

15 : 20～16 : 20

**温暖化と防災、特に水災害に関連して**

東北大学院工学研究科土木工学専攻教授 風間 聡

最近よくメディアで取り上げられている水災害が、温暖化によってどのような影響が出るのか、また、その適応策についてわかりやすく解説いただきます。

16 : 20～16 : 30 閉会挨拶

※ 講師の都合等で一部変更となる場合があります。